

令和6年7月23日

報道機関各位

長岡市福祉保健部福祉課長



最新技術の機器で会話を円滑に

「軟骨伝導イヤホン」を福祉窓口に導入

市役所の窓口は、市民や職員の声などさまざまな音にあふれているため、耳の遠い方にとって、円滑な会話が難しい環境にあります。また、ウイルス禍以降、パーティションを設置したことで、お互いの声がさらに届きづらい状況です。

このような状況でも円滑な会話ができるよう、7月18日からアオーレ長岡の福祉窓口に「軟骨伝導イヤホン」を試験的に導入しました。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるようお願いいたします。

「軟骨伝導イヤホン」について

1 軟骨伝導とは

軟骨伝導は、耳の入り口付近にある軟骨の振動を通じて、音声伝わる仕組み。空気の振動を鼓膜を通じて聞く一般的な聴覚や、頭蓋骨の振動を介する「骨伝導」に加え、第三の聴覚経路と呼ばれます。

2 「軟骨伝導イヤホン」の特長

- ・集音器を話し手の近くに置くことができ、周囲がうるさくても、声が聞き取りやすくなる
- ・イヤホンは、耳の穴に入れず、耳のくぼみに装着。圧迫感や重みをほとんど感じない
- ・イヤホン部は、穴も凹凸もない球体。拭くだけで簡単に手入れが可能



▲導入した軟骨伝導イヤホン

3 導入台数と今後

アオーレの福祉窓口に、試験的に1台導入。運用の状況を検証し、その他の窓口（アオーレ長岡の他の窓口、さいわいプラザ、支所、トモシアなど）への導入を検討します。

問い合わせ：福祉課 山田
TEL 0258-39-2343